

直売所「林檎の森」

直売所 二上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。ます。

今年もサクランボがたくさん入荷する季節となりましたが、今年 は天候不順や霜害で不作のよう で例年に比べて入荷がとも少なく なっています。

しかし、品質、味、色づきは良 く、美味しいサクランボとなって います。

※数量が少ないため、午前中に売 り切れることもありまのでご 了承ください。

そのほかブング梅やあんず梅も 被害で不作となっている生産者が 多く、入荷数量がとも少なく なっています。

そのため予約等はお断りさせて いただく場合もありますのでご了承 承ください。

地場野菜のほうは葉物をはじめ、きゅうり、ナス、トマトの夏 野菜が多くなってきています。値 段もお手頃な、とれたて新鮮な地 場野菜をお買い求めてみてはいか がでしょうか？

山菜はタケノコ、ワラビの旬が 過ぎ、入荷がほぼなくなってきま した。ミズは最盛期をむかえてお り、毎朝新鮮なものがたくさん入 荷しております。

また、店内にはサザナミもたく さん置いてありますのでミズと一 緒にどうぞでしょうか？

これから夏野菜や嶽きみ、スイ カ、メロンも本格的に入り始めま すので是非足を運んでみてはいか がでしょうか？

スタッフ一同ご来店お待ちしております。



今が旬の甘いサクランボ



色どり豊富な夏野菜が多く入荷

「林檎の森」の出荷者紹介

林檎の森には約900人の 出荷者が登録されている。

その中でも岩木地区で家族 で民宿「すだらっと」を経営 している三上さん。相馬管内な どでピーマンや小葱、ニンジン 等様々な野菜を栽培している。

林檎の森に出荷している野菜 には「すだらっと」の宣伝シ ー ルも張られています。気になっ た方は是非「すだらっと」の美 味しい料理と源泉かけ流しの 温泉を堪能しに来てください。



採れたて新鮮野菜の包装には「すだら っと」の宣伝シール

いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



女性部では、6月11日、29日に相馬小学校リンゴ学習の摘果作業と袋掛け作業を手伝いました。猛暑の中でしたが全員楽しく学びながら作業していました。

その様子は当JAで利用しているSNSアプリの「TELEGRAM」にて写真や動画を配信しております。視聴も出来ますので是非登録お願い致します。お問い合わせは農業振興課まで。

さて、7月1日に青森市社会教育センターにて令和3年度青森県JA女性大会が開催され、組織活動体験発表コンクールでは、当女性部役員でもある佐久間結華里さんが「S(そつま)D(だいき)Gs(ガールズ)」女性がもたらす地域へのパワーを後世へというテーマで発表しました。内容は熱心な地元小学校の先生との出合いが生んだりんご体験学習の復活劇で、沢山の地域住民の協力のもとで活動を定着させた事を紹介しました。また、女性部活動の参

加方法についてリモートやSNSなどの新しいコミュニケーションツールの可能性を追究し、出来る事を無理せずやっていく。また、若い人にも気軽に女性部に入部してもらえそうな環境を作っていくという内容でした。

力強く発表した結果、最高賞となる優秀賞を受賞することが出来ました。この受賞により、本来ならば8月に東北大会が岩手県で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から残念で



地域のつながりを強くアピール

はありますが中止となり、書類審査のみとなりました。しかし東北大会でも良い結果を残せるのではないかと楽しみにしています。



見事優秀賞を受賞しました



発表中の佐久間さん



入部お待ちしております

女性部員募集中!!

私たちと相馬地区を盛り上げてみませんか？
女性部では小学校のりんご学習活動や保育所の野菜畑作りのお手伝い等の地域貢献活動や、フラワーアレンジメントや料理教室など自分磨きの為の講座を開催しています。また、部員や地域、他組織との交流が沢山あります。是非JA相馬村女性部への入部お待ちしております。

お問い合わせ先：0172-84-3215

JA相馬村本所 農業振興課内 桑田まで



○りんご作業 (7/15~8/15)

管内のりんごの肥大は、7月1日現在でふじが42.9ミリと昨年より2日ほど早い生育となっております。

仕上げ摘果を終えた園地では、再度見直し摘果を行い、良品生産に向けて適正着果に努めましょう。成らせすぎは翌年の花芽形成を悪くさせるばかりでなく、隔年結果の原因ともなります。

○徒長枝(バヤ)の整理や支柱入れを行いましょ

枝の重なりを解消すると農薬散布時に薬剤の通りが良くなるため、ワタムシやカイガラムシ、ハダニなどの害虫の発生を減らすことにもつながります。また、日光を樹冠内部にまで当て、葉の光合成活動を促すことにもなりますのでこまめに行って下さい。ただし、直射日光がきつく気温が高い時に行くと果面ヤケの原因になるので注意して下さい。

○落果防止剤の使い方

ストッポール液剤は葉から吸収されて効果を出す薬剤ですので、葉に十分薬剤がかかるようにして散布して下さい。葉摘みは散布後4~5日後から行いましょう。ただし、つがるに散布する場合、高温時(28℃以上)に散布すると新梢の先端部分に葉害が発生する場合がありますので注意して下さい。

○収穫前日数に注意しましょう

極早生種や早生種のりんごを栽

培している場合には、散布する薬剤の収穫前基準に注意が必要です。

例えば、9月1日につがるを収穫する場合、収穫前45日の薬剤は7月15日以降の散布ができなくなります。恋空や着色優良系統のつがる・きおつなど、8月中に収穫できる品種がある方は特に注意して下さい。

※「恋空」の葉摘みは要注意

極早生品種「恋空」は葉を摘み過ぎるとヤケの原因だけではなく、果実の軟質化や着色の悪化にもつながります。

葉摘みを行う場合は、必要以上に葉を摘まないように気をつけましょう。

○水稻

幼穂形成期を終え、穂ばらみ期に入ります。今後は平均気温で20℃以下となる場合には15センチ以上の深水で管理し、幼穂の保温に努めて下さい。高温時には4センチ程度の浅水とし、高温が続く場合には、時々水の入れ替えをし、根の老化防止に努めて下さい。また、畦畔の草刈りはカメムシ被害防止のため、7月中旬で終了して下さい。

管内のりんご肥大状況 (7月1日調査)

	湯口	紙漣沢	相馬	前年比	平年比
つがる	48.5	48.1	46.7	108.4%	110.9%
王林	47.9	42.5	44.1	111.7%	112.8%
ふじ	42.9	42.1	43.3	104.1%	110.3%

※単位は (mm) 平年値は過去10年間の平均値

散布計画

回数	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
9	500㍓	7月下旬	ダイパワー オリオン(水) カルシウム剤	1000倍 1000倍	○カイガラムシの発生が多い園地では胴木洗いを実施する。(アプロードの年間使用回数は2回まで) ○ハダニの発生に注意。
10	500㍓	8月中旬	アリエッティC(水) バリアード(顆水) カルシウム剤	800倍 4000倍	○炭そ病の発生が多い園地ではベフラン液の使用を避ける。 ○極早生・早生種がある場合には収穫前日数に注意する。

りんご病害虫防除暦(第9回目~10回目) ※生態の早まりにより散布時期に若干のズレがあります。

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



6月の果実動向は、メロン・スイカ・輸入果実中心での売場展開のなか、サクランボについては、凍霜害による減収から市場出荷が不透明な上、単価高や品質低下の発生により積極的な売場拡大は図られず、引き合いは限定的となっています。

スイカについては、連日の梅雨空により、消費の停滞が懸念されましたが、入荷量が少ないことや、カット売りを中心に一定の荷動きがあることから、概ね保合いでの推移となりました。メロンについても、総体量は少なく、大玉を中心に堅調な贈答需要のなか、アールスメロン系や赤肉系は特に入荷が少なく、安定した販売となっています。桃については、山梨県産白

鳳が前進出荷でやや小玉傾向のなか、売価が高いことから荷動きは鈍い状況となっています。山梨県産は潤沢な出回りとなっておりませんが、後続産地は凍霜害などの影響で減産傾向となる見通しで、昨年に続く品薄高の展開が予想されます。

りんごについては、有袋ふじの内部障害が散見されたことから一斉に出荷され、潤沢な入荷となり小玉を中心に企画販売の価格は保合いで推移しましたが、大玉については弱含みでの展開となりました。品質懸念から、有袋ふじについては6月下旬に終盤を迎え、末端では有袋ジョナゴールドへの切り替えが進んでいます。王林やシナノゴールドについては、売場が



販売課ではコンテナ洗いが行われている

狭く荷動きの鈍さから厳しい販売が続いています。今後、夏果実の台頭もあり売場が限定されることから、気温の更なる上昇とともにジョナゴールドの上位等級品を中心に一定の引き合いは見込まれますが、品質面での懸念から、シナノゴールドを含め、総体的に大玉は厳しい販売が予想されます。

全農あおもりデータ（6/30累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（5月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,459	3,549	2,675	2,890	2,693	2,605
前 年 比 (%)	77	78	89	75	91	82
在 庫 数 量 (ト)	5,315	19,033	3,190	8,541	4,535	40,614
前 年 比 (%)	22,146	177	204	223	401	235

青年部通信

事務局 小野 朋宣



青年部では、6月25日に育苗作業慰労会を開催し、22人が参加した。

今回は「星と森のロマンチック」のバターゴルフ場でバターゴルフコンペを行った。青年部でバターゴルフを行ったのは初めてであり、部員らと一緒にレクリエーションを行う事が近年なかったことから親睦を深めようとした。豪華景品を目指し、9ホールを2周した打数を競った。

コースを周り始めると、早々にコースから大きく外れる等のアクシデントもあったが、次第に慣れてくる様子が見られた。その中でホールインワンを決める部員もいて、そこからはさらに盛り上がっていった。



打球を追う部員らの表情は接戦を物語る

そんな中でも、空き時間には部員らは「摘果は終わったか」「袋かけやってるか」などといった農業の進捗状況や「アブラムシ多いよな」等の情報交換は欠かさずに行っていた。

そしてコンペが終了し、スコアを集計したところ、湯口地区の溝江友貴さんが優勝し、2位とは10打



優勝商品のラジオを手に記念撮影

差つける程圧倒的な勝利であった。コロナ禍だが、今回こうして屋外での活動で密集を避ける等の工夫をする事で、集まることができた。今後も事業や研修を通じて団結力の強化に努めていきたい。

優勝した溝江さんを含め3名が7月9日に行われた第56回通常総会をもって勇退した。

振り返ると、勇退した部員らはとても頼りになる存在で、新しく入った部員らには背中中で熱く語るような活躍を見せていた。

これからも農業の先輩として後輩部員らを牽引して頂きたい。

来月は総会で改選した役員を紹介したいと思います。

未来を担う若手農業者へ JA相馬村 部員募集中!!



40歳までの方なら誰でも歓迎

ライスロマンクラブの応援作業等の地域貢献活動や栽培技術研修会、他地域との交流会、健康診断による自己の心身を見つめ直す等の活動を行っています。

心強い仲間がここにいる

問い合わせは **84-3215**
JA相馬村本所 小野 迄